

第26回 全国街路事業コンクール

特別賞

愛知県一宮建設事務所

都市計画道路事業 3・3・16号稲沢西春線

都 市 名	愛知県稲沢市	事業主体	愛知県
事業概要			
稲沢西春線は、県道岐阜稲沢線から国道22号線を結ぶ延長約5.8kmの都市計画道路である。 これまで稲沢市において、東西にアクセスする幹線道路は県道春日井稲沢線だけであったことから、慢性的な渋滞を引き起こしていた。また、稲沢市は名古屋都市部のベッドタウンとして急速な発展により、交通のアクセス性、利便性の向上をはじめ、JR東海道本線稲沢駅を中心とした都市の拠点整備が求められていた。 本事業は、新たな道路ネットワークを形成するため、都市計画道路妙興寺治郎丸線（通称：トチノキ通り）から国道22号線の手前の青木川までの約2,500mの区間において、駅周辺地域の開発を進める土地区画整理事業と連携し、鉄道により東西に分断されていた地域の約870mを高架橋により繋げることで、交通のアクセス機能を向上させ、渋滞の緩和を図ったほか、魅力のある新しい拠点の形成に寄与するものである。			
○事業延長：868m	○幅員：25.0～39.8m		
○事業費：約73億円	○事業期間：平成15年度～平成24年度		
表彰理由			
本事業により、新たな道路ネットワークが形成されたことで、周辺道路の渋滞緩和をはじめ、新たに歩道を設けたことで安全な歩行空間が確保された。新設した歩道は、近隣の関連事業で施行した公園ともアクセスすることから、良好な都市空間を創出し、健康な街づくりにも寄与したことが評価された。 今後は、名古屋方面への幹線道路として新しい交通の軸となり、周辺での整備が促進されることで、地域の更なる発展に期待が寄せられた。			

